

第4回ミュージアムさくら塾 「ヒスイ・コハクからみた縄文時代の流通」について

桜土手古墳群など、市内遺跡からの出土遺物や市史資料などを広く紹介する「桜土手古墳展示館」では、自主事業の1つとして、考古・歴史・民俗などの専門家による講義を行う「ミュージアムさくら塾」を年6回開催しています。

1 日時

1月25日(土) 午前10時から正午まで

2 場所

桜土手古墳展示館（堀山下380-3）

3 定員・費用

70人（申し込み先着順） 200円

4 講師

くりしまよしあき
栗島 義明 氏（明治大学黒耀石研究センター）



東開戸遺跡出土ヒスイ製大珠（左）と
コハク製大珠（中、右）

5 内容

秦野市下大槻にある東開戸遺跡からは、日本で最大級のコハク製大珠、及び長径約6.5cmのヒスイ製大珠が出土しており、市内にある縄文時代の他の遺跡からも多くのヒスイ製の遺物が出土しています。

今回のさくら塾では、コハクやヒスイといった、産地が限られる遺物から縄文時代の交易や流通について学びます。

問い合わせ

生涯学習課文化財・市史担当 電話0463（87）9581